

SciREX Center



政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策研究センター

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
Tel: 03-6439-6318 Fax: 03-6439-6260
E-mail: scirex-center@grips.ac.jp

SciREXポータル
<https://scirex.grips.ac.jp/>



政策のためにできること。

科学にしかできないこと。



About SciREX

SciREX事業とは

= 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業
Science for RE-designing Science, Technology and Innovation Policy

SciREX事業とは、経済・社会等の状況を多面的な視点から把握・分析した上で、課題対応に向けた有効な政策の立案を行う「エビデンス・ベースド・ポリシー」の実現を目指して、2011年度からスタートした文部科学省の補助事業です。



ファンディング

将来的な政策形成の実践につながる新しい発想に基づく提案を募集し、新たな指標や手法の開発と制度設計に向けた研究開発を推進しています。

人材育成

「政策のための科学」の担手を育成する基盤的研究・人材育成拠点を整備し、6大学5拠点で独自の人材育成プログラムを行っています。

データ・情報基盤の整備

政策形成及び調査・分析・研究のためのデータの蓄積と情報基盤の構築を行っています。

SciREX事業では
5つの取り組みを
実施しています。

SciREX
サイレックス事業

研究

行政側の具体的な政策ニーズに基づき重点課題を設定し、2年間で調査・研究を行います(2019年度開始)。客観的根拠に基づく政策形成の実現という事業趣旨に鑑み、実際の政策に具体的に反映する研究を目指しています。

ネットワーキング

SciREX事業全体の成果が、政策現場に届くようにアウトリーチを行うとともに、ワークショップ、セミナー、シンポジウムを通して政策担当者と研究者の議論の場を設けています。



Background

SciREXセンター設立の趣旨

SciREXセンターは、SciREX事業による様々な成果を実際の政策形成の現場に活かしていく中核的な役割を担う機関として、2014年8月に設立されました。SciREXセンターでは、エビデンス・ベースド・ポリシーのための実践的な研究プロジェクトを実施するとともに、

SciREX事業に関係する大学、機関のプロジェクトを取りまとめ、事業を通して得られたデータ、ノウハウなどの知見を集約し、発信していきます。また、「政策のための科学」の裾野を広げるため、人的ネットワークの構築にも力を入れています。

Our Mission

SciREXセンターのミッション

「政策形成」と「政策研究」の共進化

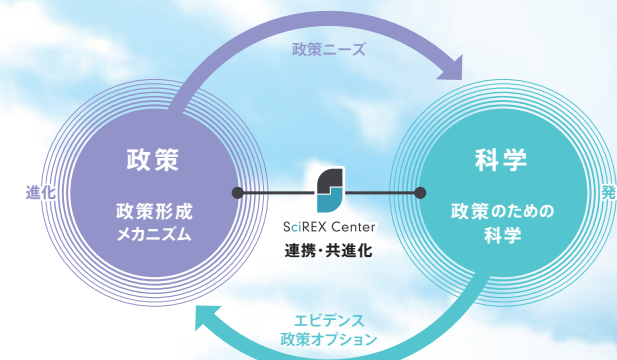
科学技術イノベーションが関係する諸課題の解決のために、「政策形成」と「政策研究」を橋渡しし、双方の共進化を促します。

エビデンスに基づく政策立案への貢献

効果的な科学技術イノベーション政策に資する方法論を開発するとともに、科学技術イノベーション政策に関わるエビデンスを集約します。

科学技術イノベーション政策に関する議論の場の提供

多角的な観点から政策課題を理解するために、政策立案者、研究者および関係者が協働する場を提供します。



Our Activities

SciREXセンターの活動内容

中核的拠点として

SciREX事業の中核的拠点として、各拠点大学、関係機関の実施するプロジェクトを取りまとめています。

研究活動

科学技術イノベーション政策の政策形成に資する方法論を開発、研究しています。また、政策形成に関わるエビデンスを集約しています。

広報・アウトリーチ活動

SciREX事業の成果を政策の現場へ橋渡しするため、多様なステークホルダーが議論できる場を提供し、様々なメディアを通じて成果を発信しています。

個から生み出される知。
集だからこそ生まれる力。



広報・アウトリーチ活動

SciREX事業の成果を政策の現場へ橋渡しするために、各ステークホルダーが対等に議論しあいながら信頼関係を構築できる場をデザインしています。また、政策提言、ワーキングペーパー、SciREXポータル、ウェブマガジンなどによって成果の発信を行っています。

ネットワーキング

- セミナー
- サマーキャンプ
- シンポジウム

教育内容の検討

- 「政策のための科学」のためのコアコンテンツの作成
- 行政官を対象とした研修

成果の発信

- 政策提言
- ワーキングペーパー
- SciREXポータル
- ウェブマガジン

政策リエゾン



文部科学省



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



内閣府

政界・政府関係府省・地方自治体

産業界

NPO
NGO
市民

基盤的研究・人材育成拠点

教育・研究機関



政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策プログラム



大阪大学／京都大学
公共圏における科学技術・教育研究拠点



東京大学
科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム



九州大学
科学技術イノベーション政策教育研究センター



一橋大学
イノベーションマネジメント・政策プログラム

関係機関



科学技術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy



社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society



国立研究開発法人科学技術振興機構
研究開発戦略センター

インターンシップ

実践的業務の経験を提供

研究機関 大学等



Our Activities

中核的拠点としての活動内容

SciREX事業の中核的拠点として

SciREX事業では6つの大学（GRIPS、東大、一橋大、阪大、京大、九大）、3つの関係機関（NISTEP、RISTEX、CRDS）が協力して、事業目的の達成を目指しています。SciREXセンターは、その中核的拠点として、各大学、関係機関の実施するプロジェクトを取りまとめ、SciREX事業全体の成果として発信しています。

研究活動

SciREXセンターでは、2019年度より行政側のニーズをもとに以下の6つの研究プロジェクトを実施しています。

- 1 新興・融合科学領域における「予見・分析手法」の検討と人的ネットワークの形成
- 2 イノベーション創出の基盤強化のためのメカニズム分析：SPIASを活用して
- 3 医療分野の特性に合った基礎研究・応用研究・実用のイノベーションエコシステム構築に資する調査研究
- 4 研究力向上に向けた新たな測定指標の開発
- 5 地震分野の研究成果の実効的な活用・社会実装方策に関する研究
- 6 SDGs達成に資する「破壊的・インクルーシブ・イノベーション」のあり方に関する研究

Research Project

6つの研究プロジェクト

行政側の具体的な政策ニーズをもとに検討を重ねて設定された、6つの研究プロジェクトを実施しています。

この研究プロジェクトに取り組むこと自体が、研究者と行政官の「共進化」の挑戦的な試みの一つであると言えます。

これらを通じてSciREX事業の進化と、コミュニティ全体のさらなる充実を目指しています。



3

医療分野の特性に合った基礎研究・応用研究・実用のイノベーションエコシステム構築に資する調査研究

ライフサイエンス分野の基礎研究・応用研究・実用をより効率的かつ効果的に推進するために、新しい制度設計のあり方を検討します。研究開発の初期段階から積極的な企業行動を促すとともに、大学における基礎研究から臨床現場への橋渡し研究(TR:トランスレーショナル・リサーチ)や、臨床研究を主導する組織(ARO:アカデミック・リサーチ・オーガナイズーション)のパフォーマンスを改善する条件と方策について、特にファイナンスの観点から明らかにすることを目指します。

プロジェクトリーダー 隅藏 康一 政策研究大学院大学 教授

4

研究力向上に向けた新たな測定指標の開発

大学等の「研究力」の定義と指標をあらためて考察します。そのためには、各学問分野に適した研究成果の量・質・インパクトの指標を検討するのに加えて、個々の大学等の組織が大学セクター等の全体の中でどのような機能を果たしているのかというシステムレベルでの測定も求められます。これらの点を踏まえ、これまでの指標とは異なる新しい測定指標を開発し、実際に分析を行います。

プロジェクトリーダー 林 隆之 政策研究大学院大学 教授

1

新興・融合科学領域における「予見・分析手法」の検討と人的ネットワークの形成

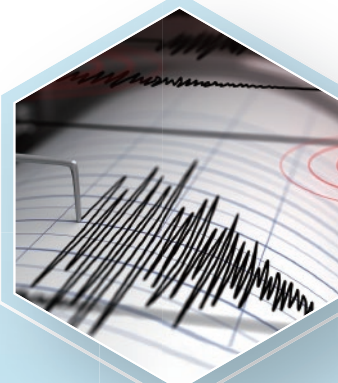
新興・融合科学領域の重要性の認識が国内外で高まっていますが、それらがどのような社会経済的インパクトを持ちうるかについての理解は十分とはいえません。予見されるインパクトを多角的に把握するため、フォーサイト活動などの「予見・分析手法」を、使用される場面や目的に応じて、適切に組み合わせて活用していく手法を開発します。同時に、プロトタイプを試行し、現実の政策形成プロセスに働きかけを行っていくことと、研究者や政策担当者との人的ネットワークの形成を行います。

プロジェクトリーダー 有本 建男 政策研究大学院大学 客員教授
平川 秀幸 大阪大学 COデザインセンター 教授



思考を重ねて。

進化を追い求めて。



5

地震分野の研究成果の実効的な活用・社会実装方策に関する研究

地震・防災研究の成果を活用するにあたって、行政が現状でできていること、できていないこと、研究に対するニーズ等を、関係者へのヒアリングやアンケート調査をもとに整理します。また、関係者を集めたワークショップの実施や、国内外の事例の分析などを通じて、研究とニーズをマッチングするための形態や方策にはどのようなものが考えられるかについて提案を行います。

プロジェクトリーダー 森川 想 政策研究大学院大学 特任フェロー
東京大学 工学系研究科 社会基盤学専攻 助教

6

SDGs達成に資する「破壊的・インクルーシブ・イノベーション」のあり方に関する研究

「破壊的・インクルーシブ・イノベーション」は社会課題解決のためにテクノロジーとビジネスモデルを駆使し、より多くの人々にイノベーションを提供することで社会にインパクトを与えます。日本、先進国のみならず、途上国で活動する企業、新興国のベンチャー企業動向にも注目し、持続可能な開発目標(SDGs)達成のためのイノベーションの役割と政策的支援体制について検討します。

プロジェクトリーダー 飯塚 倫子 政策研究大学院大学 教授



飽くことなき挑戦

未来へつなぐ軌跡

To Co-evolution

研究者と行政の共進化に向けて

SciREXセンターは、研究者と行政の共進化に向けた、中核的拠点としての役割を担っています。エビデンス・ベースド・ポリシーの実現に向けて、研究者と行政官が協働していくための活動を行っています。



コアコンテンツ

1章

科学技術イノベーションのダイナミクス

2章

科学技術イノベーションのガバナンス及び政策形成プロセス

3章

科学技術イノベーションと社会

4章

科学技術イノベーション政策の社会経済的インパクト評価

5章

科学技術イノベーション政策の歴史・海外情報

SciREXコアコンテンツの作成

「政策のための科学」という学問分野の確立のため、学ぶべき主要なコンテンツをSciREX関係者と共同で作成しWEB上で公開しています。大学生、若手、中堅の行政官、ファンディングエイジェンシーなどの実務家を対象とした内容になっています。

<https://scirex-core.grips.ac.jp/>

行政官研修

若手の行政官を対象として、科学技術イノベーション政策の企画立案・遂行能力の向上を図る研修を実施しています。講義形式の座学を2日間、実習形式のワークショップを2日間行い、政策提言を行うことをアウトプットとしています。

SciREXサマーキャンプ

科学技術イノベーション政策の行政官を対象に研修プログラムを提供しています。客観的根拠（エビデンス）に基づいた政策推進への寄与や、行政実務現場で実践的な活用ができる内容となっています。

メインテーマ

2030年の社会と科学技術イノベーション政策

グループテーマ

1 基本計画	10年後の第8期科学技術基本計画策定のためのエビデンスを構築
2 大学	2030年の日本の大学像と需要を予測
3 エネルギー	2030年のエネルギーミックスの実現を考える
4 宇宙	2025年以降の宇宙政策を考える
5 医療	エビデンスに基づいた持続可能な医療政策を考える
6 ELSI	新たなバイオテクノロジーを社会に導入する際に発生する倫理的・法的・社会的・政策的問題を検討
7 子どもの安心	児童虐待の根絶に対して科学技術ができることを検討
8 SDGs	どうしたら科学技術イノベーションがSDGsに貢献できるのかを検討
9 データ	データドリブンな戦略立案をめざす

インターンシップ

政策研究、政策実務に関心のある学生を対象に、研究プロジェクトに参加してもらい、実践的な業務を提供するインターン制度を設けています。政策研究、政策実務に対する理解を深めていただくことで、当分野に携わる人材の裾野を広げていきます。



参加者 学生**56名**（GRIPS 3名、東大 15名、一橋 10名、京大 7名、阪大 6名、九大 7名、その他8名。56名のうち留学生9名） 教職員・関係機関職員等**92名**（拠点・関係機関教職員59名、行政官14名、外部講師19名）

ネットワーキング

政策リエゾン

実際の政策形成の現場へのつなぎ役・先導役として、関係府省の現役行政官等をメンバーとする政策リエゾンネットワークを構築しています。研究プロジェクトへ参加してもらい、行政サイドの問題意識を提示してもらうことで、行政ニーズと研究シーズのマッチングを行っています。

国際的なネットワーク

科学技術イノベーション政策に関連する海外の大学や機関とのネットワークも構築しています。

INGSA 2018 開催

政府に対する科学的助言に関する国際ネットワーク（International Network for Government ScienceAdvice: INGSA）の第3回会合を、INGSA、科学技術振興機構、政策研究大学院大学の共同で開催しました。50カ国以上から政策専門家、実務家、学者が集まり、さまざまな観点から科学的助言のあり方や具体的課題、実践的アプローチを探究。関係者の幅広いネットワークをつくる機会となりました。



メインテーマ

Science Advice in a Changing World

変化する世界における科学的助言

分科会テーマ

- 技術・社会の変革の時代における科学的助言（情報化時代における人間、破壊的技術のマネジメント、ビッグデータと政策形成等）
- 持続可能な開発目標（SDGs）と科学的助言（人文・社会科学との連携、政策課題のマッピング、民間セクターの役割等）
- 科学的助言の将来（信頼の醸成、スキル開発、公共政策と科学助言等）
- 具体的事例における科学的助言の課題（災害と科学的助言、持続可能な都市、科学技術外交等）

SciREXセミナー

隔月1回程度で、霞ヶ関近辺で開催。研究プロジェクトの進捗報告やSciREXとして重要だと考えられるテーマを題材に研究者と行政官が意見交換できる場を設けています。

破壊的・インクルーシブ・イノベーションシンポジウム・WSの開催 （2019年2月）

SDGsで掲げられる社会課題の解決に資するイノベーションのあり方について、SDGs達成のための包摂的な科学技術のあり方、社会課題解決型スタートアップのスケールアップへの課題、SDGsに向けた産官学のパートナーシップの在り方について議論しました。当日は、国内外から多数の来場者で大盛況でした。



グローバル・インパクトを加速し、SDGsの達成を目指して

Day1: GRIPS ラウンドテーブル

「国境を越えるバイオニア～SDGs達成に向けた破壊的インクルーシブ・イノベーションとベンチャーの可能性・挑戦～」

Day2: GRIPS シンポジウム

「破壊的・インクルーシブ・イノベーション～グローバル・インパクトを加速し、SDGs達成を目指して～」

新地 新たな 地平へなる

Our Members SciREXセンターのメンバー

SciREXセンターでは、異分野の専門家が集結して連携し、あらゆるノウハウを結集することで、より実践的な研究活動に取り組んでいます。多岐にわたる学問領域からアプローチを重ね、様々なステークホルダーと一体となってプロジェクトを推進し、これからの社会に求められるエビデンス・ベースド・ポリシーの実現を目指しています。



白石 隆 Takashi Shiraishi

センター長
政策研究大学院大学 名誉教授
熊本県立大学 理事長
専門は東アジア地域形成、東アジアの政治と国際関係。アジア経済研究所所長、内閣府総合科学技術会議議員、政策研究大学院大学学長などを歴任。



角南 篤 Atsushi Sunami

副センター長
政策研究大学院大学 学長特別補佐
専門は科学・産業技術政策論、公共政策論、科学技術と外交。文部科学省科学技術・学術審議会委員、外務省科学技術外交推進会議委員などを務める。



有本 建男 Tateo Arimoto

副センター長
政策研究大学院大学 客員教授
専門は、科学技術政策、科学的助言、科学と社会の関係。JST研究開発戦略センター（CRDS）上席フェローを兼任。



林 隆之 Takayuki Hayashi

センター長代理
政策研究大学院大学 教授
専門は科学技術政策、科学計量学、高等教育政策、評価。SciREXセンターでは、大学・公的機関の研究活動や科学技術政策の評価システム・手法・指標に関する研究に従事。



隅藏 康一 Koichi Sumikura

政策研究大学院大学 教授
専門は知的財産政策、科学技術イノベーション政策、ライフサイエンス政策。SciREXセンターでは、医療分野の特性に合った基礎研究・応用研究・実用のイノベーションエコシステム構築に資する調査研究に従事。



飯塚 倫子 Michiko Iizuka

政策研究大学院大学 教授
専門は途上国における科学技術イノベーション政策。SciREXセンターでは、インクルーシブイノベーション、持続可能な発展目標（SDGs）を達成するための科学技術とイノベーション（STI）政策に関する研究に従事。



池内 健太 Kenta Ikeuchi

特任フェロー
経済産業研究所 研究員
専門は研究開発・イノベーション・生産性の実証分析。SciREXセンターでは、科学技術イノベーション政策による研究開発の成果を定量的かつ定性的に把握するためのデータプラットフォームの構築に従事。



森川 想 So Morikawa

特任フェロー
東京大学 工学系研究科
社会基盤学専攻 講師
専門は行政学・政策学。SciREXセンターでは、公共政策におけるデータや情報通信技術、学術研究の役割と、その利活用に向けた政策形成過程に関する研究に従事。



岡村 麻子 Asako Okamura

専門職
専門は科学技術イノベーション政策。SciREXセンターの企画運営と併せて、新興・融合科学領域「予見・分析」PJや科学と社会の指標化PJに従事。



鈴木 和泉 Izumi Suzuki

専門職
専門は労働法。SciREXセンターの企画運営と併せて、研究開発型ベンチャー支援政策、およびインクルーシブ・イノベーションに関する調査研究に従事。



菊地 乃依瑠 Noel Kikuchi

専門職
専門は科学コミュニケーション。SciREXセンターの企画運営と併せて、政策形成プロセスの改善手法の開発プロジェクトに従事。



佐々木 達郎 Tatsuo Sasaki

専門職
専門は技術経営。SciREXセンターでは、科学技術イノベーション政策による研究開発の成果を定量的かつ定性的に把握するためのデータプラットフォームの構築、およびスタートアップの事例研究に従事。



安藤 二香 Nika Ando

専門職
専門は研究開発プログラムのマネジメント。SciREXセンターの企画運営と併せて、ステークホルダーとの対話・協働による研究開発の推進や、研究開発評価に関するプロジェクトに従事。



春山 紗樹 Saki Haruyama

専門職
SciREXセンターでは、経理・総務に従事。

顧問

吉川 弘之 Hiroyuki Yoshikawa

科学技術振興機構特別顧問

大山 達雄 Tatsuo Oyama

政策研究大学院大学 名誉教授

黒田 昌裕 Masahiro Kuroda

政策研究大学院大学 客員教授
慶應義塾大学名誉教授

森田 朗 Akira Morita

政策研究大学院大学 客員教授
津田塾大学教授